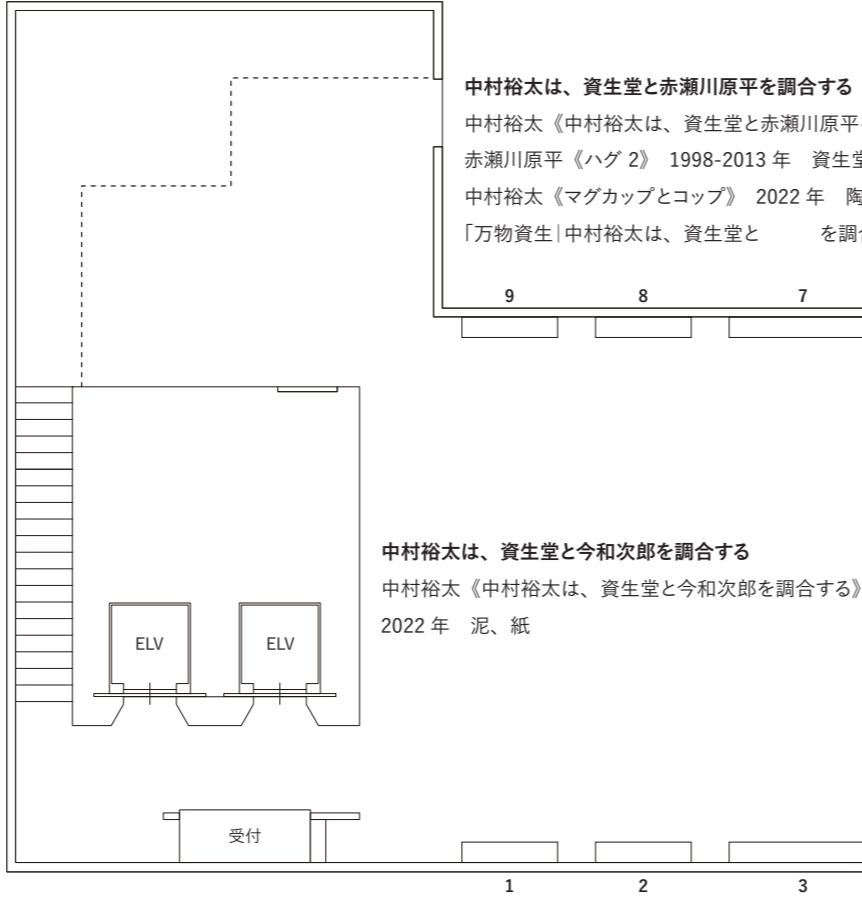


**中村裕太は、資生堂と** **を調査する**

中村裕太《中村裕太は、資生堂と **を調査する**》  
2022年 泥、紙



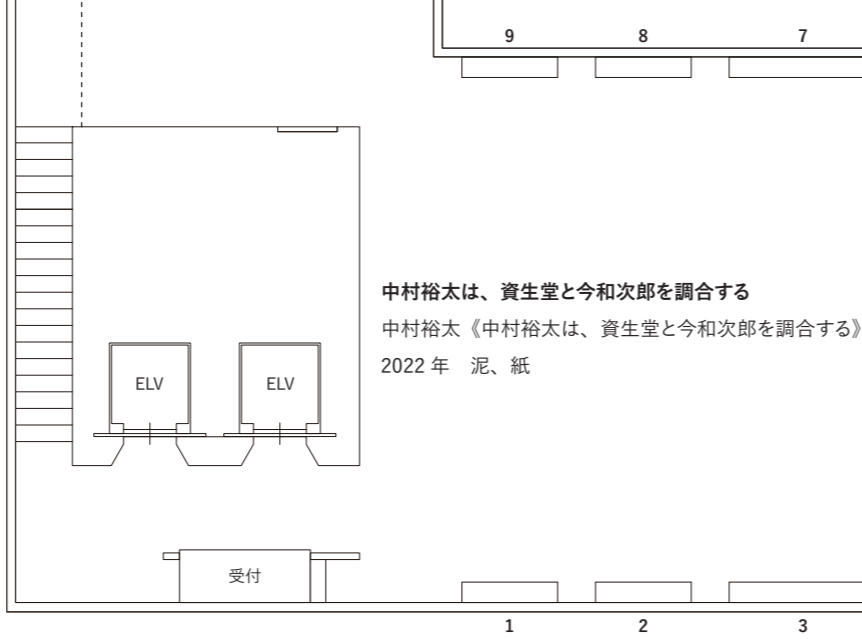
**中村裕太は、資生堂と赤瀬川原平を調査する**

中村裕太《中村裕太は、資生堂と赤瀬川原平を調査する》 2022年 泥、紙 \* 赤瀬川原平「ガラス絵・ハグ」2013年より一部引用

赤瀬川原平《ハグ2》1998-2013年 資生堂蔵

中村裕太《マグカップとコップ》 2022年 陶

「万物資生」中村裕太は、資生堂と **を調査する**」解説 2022年 HDビデオ 撮影：内田圭



**中村裕太は、資生堂と今和次郎を調査する**

中村裕太《中村裕太は、資生堂と今和次郎を調査する》  
2022年 泥、紙

「凡例」キャプションには、資生堂企業資料館の所蔵品は[S]、中村裕太の蒐集品は[N]と表記。

- 1902年 出雲町店にソーダファウンテンを設置**  
今和次郎 編『新版大東京案内』（中央公論社）1929年 [S]  
岸田劉生「大東京繁昌記 61 新古細句銀座通」（東京日日新聞）1927年 [S]（上）  
歌川広重《東京開花名所図絵之内 京橋南詰煉瓦家》 年代不詳 [S]（右）  
歌川広重《東京開花名所図絵之内 新橋通煉瓦造》 年代不詳 [S]（左）  
中村裕太《ソーダファウンテン》 2022年 陶、土  
「ポマドンヌール」広告（読売新聞）1889年11月17日 [N]

- 1915年 福原信三が「花椿マーク」を考案**  
今和次郎『裝飾様式演習 西洋古代』（相模書房）1966年 [N]  
中村裕太《花椿草案色紙》 2022年 陶、土  
小村八重 著 山本武夫 編『雪岱画集』（高見澤木版社）1942年 [S]  
資生堂「香水 菊」 1920年頃 [S]  
川島理一郎《出雲町店の設計図（椅子の背）》 1923年 [S]

- 1917年 福原信三が「香水 花椿」を調査**  
《あんこ人形》1930-40年頃 [N]  
今和次郎『日本の民家』（鈴木書店）1922年 [N]  
「花椿本舗 福原資生堂 香油 花つばき」木製代理店看板 1917年頃 [S]  
中村裕太《花椿 香油》 2022年 陶、土  
「大島土産 孤島の風俗」年代不詳 [N]（上）  
資生堂「花かつら」広告（東京朝日新聞）1905年6月22日 [S]（下）  
資生堂『第弐号帖 各種化粧品香料処方』1924年 [S]  
福原信三『光と其諧調』（寫真藝術社）1923年 [S]  
資生堂「香水 花椿」 1917年 [S]

- 1921年『銀座』を刊行**  
三須裕 編『銀座』（資生堂化粧品部）1921年 [S]  
岸田劉生「大東京繁昌記 62 新古細句銀座通」（東京日日新聞）1927年 [S]（上）  
「東京名所 銀座通り」明治期 [N]（右下）  
「銀座尾張町の焼跡」1923年頃 [N]（中下）  
「奉祝銀婚式記念 銀座通夜の奉祝光景」1925年頃 [N]（左下）  
中村裕太《日傘人形》 2022年 陶、土  
今和次郎『民俗と建築』（磯部甲陽堂）1927年 [N]  
磯部鎮雄 編『いかもの趣味2 信仰と習俗の巻』（いかもの會）1933年 [N]

- 1923年 バラックの出雲町店を再建**  
『建築写真類聚 バラック建築巻一』（洪洋社）1923年 [N]  
中村裕太《カフェーキリン》 2022年 陶、土  
中村裕太《資生堂出雲町店》 2022年 陶、土  
川島理一郎《出雲町店の設計図（内部正面の壁）》 1923年 [S]  
木村宗一 編『第一回工精会家具展覧会』1938年 [N]  
川島理一郎《出雲町店の設計図（内部）》 1923年 [S]  
資生堂「銀座粉白粉」 1931年頃 [S]

- 1925年 武井武雄氏童画展覧会**  
資生堂「子供服」 1922年頃 [S]  
『コドモノクニ』（第4巻第3号、東京社）1925年 [N]  
「平和記念東京博覧会 文化村」 1922年頃 [N]（上）  
清水隆『趣味の厚紙細工』（三友社書店）1930年 [N]（下）  
中村裕太《黒猫車》 2022年 陶、土  
『建築写真類聚 建築家の家巻一』（洪洋社）1934年 [N]

- 1928年「資生堂アイスクリームパーラー」を開店**  
今和次郎 吉田謙吉 編『モデルノロゾオ 考現学』（春陽堂）1930年 [S]  
岸田劉生「大東京繁昌記 64 新古細句銀座通」（東京日日新聞）1927年 [S]

- 川島理一郎《出雲町店の設計図（壁面裝飾部分）》 1923年 [S]  
中村裕太《アイスクリームカップ》 2022年 陶、土  
資生堂パーラー「卓上メニュー」 年代不詳 [S]  
資生堂パーラー「藤製お持ち帰り用アイスクリームポット（大）」大正～昭和初期 [S]  
「銀座を歩く人」（『資生堂月報』第28号）1927年 [S]  
資生堂『第六号帖 資生堂アイスクリーム・シロップ製造法』1924年 [S]

- 1937年「花椿会」を発足**  
資生堂「モダンカラー粉白粉」 1933年 [S]  
資生堂「ビューティーチャート」 1936年頃 [S]  
資生堂「グリース・シャドー クリーム・シャドー モダンカラー 粉白粉 色見本」 1933年頃 [S]  
福原信三「化粧品の容器の材質及形状の最近の傾向」原稿 1929年 [S]（上）  
「第四回資生堂美術展覧会目録」1929年 [N]（右）  
「花椿会記念品付録 記念品に添へて」 1939-1940年 [N]（左上）  
「花椿会記念品付録 富本憲吉先生略歴」 1939-1940年 [N]（左下）  
中村裕太《白磁壺》 2022年 陶、土  
富本憲吉《帯留》1939-1940年 [N]  
今和次郎「工芸全野の讚美」（『工芸時代』第2巻第7号、アトリエ社）1927年 [N]  
「ブルーノ・タウト氏 日本を去る！」（『工芸ニュース』第5巻第11号、工芸調査協会）1936年 [N]

- 1941年 新生活美術第二回展覧会**  
資生堂「過酸化キューカンパー」広告 1943年 [S]（右）  
清水隆『趣味の厚紙細工』（三友社書店）1930年 [N]（左）  
中村裕太《テーブルと椅子》 2022年 陶、土  
「劇団東童 第46回公演プログラム 野鴨は野鴨」（菊岡久利 作、吉田謙吉 装置）1940年 [N]  
菊岡久利『野鴨は野鴨』（吉田謙吉 装丁、三笠書房）1940年 [N]

- 今和次郎『住生活』（乾元社）1946年 [N]  
資生堂「マッスルオイル」 1941年頃 [S]  
資生堂「過酸化キューカンパー」 1938年頃 [S]  
資生堂「木製容器の口紅」 1943年頃 [S]

本展開催にあたり、今村製油所様、工学院大学図書館様、赤瀬川尚子様をはじめ、ご協力を賜りました多くの皆さまに心より御礼申し上げます。

中村裕太  
1983年東京生まれ、京都在住。2011年京都精華大学博士後期課程修了。博士（芸術）。京都精華大学芸術学部特任講師。〈民俗と建築にまつわる工芸〉という視点から陶磁器、タイルなどの学術研究と作品制作を行なう。近年の展示に「第20回シドニー・ビエンナーレ」（2016年）、「あいちトリエンナーレ」（2016年）、「柳まつり小柳まつり」（ギャラリー小柳、2017年）、「MAMリサーチ007：走泥社—現代陶芸のはじまりに」（森美術館、2019年）、「ツボ\_ノ\_ナカ\_ハ\_ナダロナ?」（京都国立近代美術館、2020年）、「丸い柿、干した柿」（高松市美術館、2021年）。著書に『アウト・オブ・民藝』（共著、誠光社、2019年）。

# SHISEIDOGALLERY

会期：2022年2月26日[土] - 5月29日[日]  
平日 11:00 - 19:00 日・祝 11:00 - 18:00  
毎週月曜休（月曜日が祝祭日にあたる場合も休館）  
主催：株式会社 資生堂  
※新型コロナウイルス感染症の状況により、内容およびスケジュールに変更が生じる場合がございます。